

市民と議会の意見交換会
(留萌商工会議所青年部)
結果報告書

令和7年12月16日 留萌市議会

実施概要

1. 目 的 留萌市議会基本条例に基づき「市民にわかりやすく・開かれた議会」、「市民参加の機会の拡充」及び「市民への説明責任を果たす」ことを目的とする。
2. 申込団体 留萌商工会議所青年部
3. 開催日時 令和7年12月16日（火）18：30～20：00
4. 場 所 留萌産業会館 小ホール
5. テ ー マ 地域に根ざした道の駅るもいの新たな発展を考える
議題1）道の駅るもいのエリア活用について
議題2）道の駅るもいの施設内環境について
議題3）道の駅るもいの周辺施設について
6. 議会参加者 総務経済常任委員会
7. 開催次第
 - （1）開 会
 - （2）代表者挨拶 留萌商工会議所青年部 会長 前 田 康 太 様
 - （3）議長挨拶 留萌市議会 議長 燕 昌 克
 - （4）意見交換
 - （5）閉 会

8. 参加者名簿

〔順不同〕

留萌商工会議 所青年部	前 田 康 太 様
	堀 松 大 志 様
	石 田 純 一 様
	串 橋 郁 緑 様
	大 嶋 光 生 様
	横 関 真由美 様
	菅 保 堂 様
	近 藤 弘 幸 様
	高 濱 祐 輔 様
	佐々木 忠 孝 様
	松 村 剛 様
	玉 田 宏 幸 様
	川 村 忠 司 様

総務経済常任 委員会	戸 水 美保子 委員長
	宇 川 達 朗 副委員長
	鈴 田 亜 湖 委員
	小 野 敏 雄 委員
	鈴 田 亜 湖 委員
	野 崎 良 夫 委員
	燕 昌 克 議長

9. 意見結果 「意見集約結果」に記載のとおり

意見集約結果

No.	内容（質疑、意見、要望等）	回 答
	議題 1	
1	道の駅るもいを観光客だけではなく、市民にとってもまた行きたくなるような場所にしていくために、再来集客のための、通年イベントやイルミネーション、鉄道ファンなどの特定層に向けた S L の検証工夫はあるか。	現在、通年のイベントとして指定管理事業で 24 事業、貸館イベントは 77 件行われている。 イルミネーションに関しては、現在、道の駅管理棟内において、12 月から 2 月までイルミネーションを設置している。 屋外のイルミネーションについては設備、電気の引込みや、電気代などのランニングコストも検討しなければならないため行っていない。 留萌市のみならず、民間協働による集客イベント、市内団体や市民が協力して何か進められるようなことができればいいなということで、市のほうでは期待しているという。 鉄道関連の S L の展示方法については、10 月に S L 乗車体験の開催、道の駅管理棟内において旧留萌地域の歴史を感じられるような駅そばの提供、鉄道の歩みパネル展示、留萌駅特集の放映などを行っている。 今後は、見晴公園の S L 移設など、周辺の鉄道遺産の観光資源としての活用検討とあわせて、昨年度、留萌鉄道遺産活用検討ワーキンググループより、旧留萌駅の思い出再現ゾーンとし

		て活用するアイデアの提言をいただき、指定管理者や施設などの飲食提供者とともに勉強して、鉄道関連品の展示などを行っている。 旧留萌駅の一部を再現することなどによって、鉄道展示魅力施設として活動の歴史を感じられるような展開をしていきたいと所管は考えている。 S Lの移設に関しては、移設の費用に 3,800 万円、道の駅に移設した場合には、塩害リスクの軽減のため建屋を建てる必要があり、建屋の建設費用に約 1 億円かかるという試算が出されている。
2	南富良野の道の駅は、モンベルショップがあり、ショップの裏に大きな遊具の公園がある。非常に集客力もあり、滞在時間向上にも繋がるため経済効果も期待できる。 また、公園の機能としても子どもたちが喜ぶようなふわふわドームのような設備がある公園をファミリー層も望んでいるが、そのような公園を作ることはできないか。	道の駅には、ちゃいるもがオープンし、全天候型で安心して遊ぶことができる施設として、昨年は 2 万 8,000 人が利用している。 また、道の駅連絡会が主催するスタンプラリー完走者が選ぶ北海道道の駅ランキング 2024 年では、家族で訪れたい道の駅、子どもや高齢者に優しい道の駅部門において、道の駅るもいが 6 位にランクインした。 それで、屋外の公園施設については、設置にかかる費用、ランニングコストも考慮が必要である。

		また、留萌は天候面に付随し、安全性も不安視される。 基本的には神居岩公園のアスレチックや高砂公園などを利用 いただくよう考えている。 しかし、進化する道の駅として今後国の第3パッケージにも 選ばれ、今後議論が進む中で意見を反映できる可能性は残っ ているのではないか。
3	9月に、ビレッジエリアBの場所でキャンプを行った。 気軽にそこで一般市民の方がキャンプをできる環境、またバ イカー向けのソロキャンプができる環境づくりのモデル事業 はできないか。	道の駅において、昨年度はキャンピングカーメーカーの「V A N T E C H北海道」、「ナッツR V札幌店」の2社がキャンピン グカーの試験的なキャンプ体験を行った。 そこでアンケート調査を行い、体験者からは、道の駅のほうが まちなかと近いことから、地元の買物や飲食との親和性があ るとの評価を頂き、炊事場や温浴施設などの施設要望があつ た。 今年度においては、キャンピングカーメーカーの「北海道ノマ ドレンタカー」による外国人向けツアーで道の駅を利用し、道 の駅事業においても、道の駅るもいかぞくでデイキャンプ事 業を実施している。 キャンプ施設につきましては、今年度選定されました道の駅 第3ステージ応援パッケージにおいて、アウトドア・アクティ

		ビティ拠点施設の連携による、車中泊専用サイトなどの整備について検討を進めている。
4	要望として、市議会議員も含め市の関係者にも道の駅でのキャンプ体験をしていただき、体験談から意見を反映してもらいたい。	キャンプは、車中泊、デイキャンプと様々検討が必要である。その場合、市の職員のみならず、市民、愛好家など、実際に体験した方の意見を取り入れることがすごく大事であると市も考えている。 体験事業を行う場合、市役所職員、特に若手職員を中心にしっかり声掛けをしていきたい。
	議題 2	
5	モンベルができるにあたり、チャレンジショップがなくならないか。通年で営業できるように管理棟内で運営にすることが検討されていないか。 また、地方の道の駅では朝どれ野菜が置いていたりするが、留萌の道の駅では、朝どれ野菜や朝市だったりといったものは検討しているのか、可能なのか聞きたい。	チャレンジショップは、令和2年7月に道の駅がオープンし、その後起業を考えている方や、地元食材を使用した新たな取組を考えてる方が試験的に試行的に実践できる場として存在している。 現在、指定管理者の留萌観光協会が募集し、決定まで行なっている。 令和7年度は4店舗が出店し、営業期間は4月末から10月末となり、今年は11月の3連休まで行った。 通年でのチャレンジショップの運用は、管理棟の中の1階部分、2階部分となるが、誘客を目的としたイベントが非常に多

		く、そこでのチャレンジショップは、現段階では難しい。 チャレンジショップがなくなるのではないかという件については、まだ議会でも不明であり、今後の検討課題になる。 地元の野菜売場、朝どれ野菜については、現在建設されているアウトドア・アクティビティ拠点施設に置いて物販と飲食施設の出店者募集をしている。 この公募に関して、実施要綱には、基本コンセプトが三つあり、生鮮直売に限らず、留萌管内の様々な食資源を生かし、食の価値を高め、商品開発や飲食、特産品販売を通して、新たな食ブランドや管内の魅力を発信するアンテナショップ機能というコンセプトがあるため野菜販売の可能性は非常に高いと考えられる。
6	車中泊をするが、アウトドアに行ったにも関わらず、近隣の繁華街に飲みに行くことがある。留萌は繁華街まで徒歩で行けるため、利用しやすいようにナイトマップのようはものがあるといいのではないか。また、街に流れるような導線作りは行われているか知りたい。	指定管理者である留萌観光協会において、お出かけカード、いわゆるショップカードがある。管理棟の入り口に10センチ程度のカードがそれぞれのお店の名前、分野別に並んでいる。そのカードにQRコードがついており、そのQRコードを読み取ることでグーグルマップに飛び、道案内ができるため非常に好評である。 また、来年8月に完了予定のアウトドア・アクティビティ拠点

		施設の中にデジタルサイネージが設置される。 地図の中から目的地を押すことで様々な情報を得ることができ、「ここからゴー」というシステムでスマホに飛び、それで誘導されて町まで行くことができる。またインバウンドにも対応するため日本語と英語にも対応が可能となる。 他にも、観光コンシェルジュも設置予定である。 そして、もう一つ有効なのがFMもえるである。 このFMもえるが道の駅サテライトスタジオに入ったことで、より人の声というのが身近に感じられるということを言われている。 道の駅インフォメーションとして朝と昼と夕方3回にわたって、留萌の情報がそこから流れる。エフエムもえるの情報発信も一つ、まちなかへの誘導に大きく役割があると考えている。
	議題 3	
7	道の駅周辺で、今後温浴施設の計画があると、先ほど来から話も出ている。 道の駅るしんふれ愛パークでもよくスポーツが行われており、道の駅るもい、みなとオアシスるもいと温浴施設は親和性が高いと思う。 こういう温浴施設があれば便利だよねという話が市民から上	市民の皆様から我々に対しても非常に温浴施設が欲しいという意見は受けており、議員も承知している。 今回、市長より提示された温浴施設についての概要に関しては今後明らかになると考えている。 現在、道の駅から神居岩温泉への送迎というものは今行っ てはいないが、温浴施設の送迎車両として温泉タクシー留がある。

	がっていれば聞かせていただきたい。 温浴施設ができるまでは時間がかかると思われるが、現在道の駅から神居岩温泉への送迎の取り組みがあるのかお聞きたい。	週に2回火曜日・金曜日、るもいプラザから神居岩温泉への送迎事業を留萌市で行っている。 なお、利用者は、開始時の令和2年では635名、令和5年には1,039名であった。
8	厚田港では朝市を盛大に行なっており、毎年4月中旬から10月頃までやって、20店舗ほど出ている大変賑わっている。 留萌でも、実現できれば、集客に繋がるのではないかな。 また、次の漁業組合・青年部との連携についての取り組みはないかな。 ビレッジエリアD、港側への朝市を設置はできないかな。	本年度はSUPの大会や南岸には小麦集出荷貯蔵施設が開設した。夏には釣り客がたくさんいるような状況である。 現状、港では「うまいよるもい市」が留萌としてリピーターを呼び、結構な集客になっている。 ヴィレッジエリアDの使い方も今後の進化する道の駅として議会としても注視していく。
9	街灯に関して、キャンプや車中泊なりが可能になってからだが、非常に暗く感じる。敷地内のみならず、街に向かう導線においても途切れてしまっている。 まちに向かう動線が明るくするというプランがあるか聞きたい。	街灯数は、公園の設計指針に基づいて設置している。 駐車場側の街灯は消灯せず、芝生側は22時に消灯している。 公園全体は、園路のみのほうが街灯だけつけており、明るくすれば明るい、うるさい、電気の無駄遣いと言われる可能性もあるため、今後、道の駅の利用形態に合わせて検討する。
	自由質問	

10	キャンプにはごみの問題があり、キャンプ場ができるのであれば、ごみが捨てることができれば、足を運ぶ理由にもなり、リピーターも増える。 処分費の問題もあり、有料でもサイト料に含めてという形でも出来るのではないかと思います。ゴミの問題について伺いたい。	ゴールデンビーチでは、駐車代金を払うことでごみの処理をしている。 今後の議論となるが、利用料をいただいて行う方法がいいのではないかと。
11	長距離運転手の宿泊をメインになると考えるが、夜間に食事が摂れる無人の自動販売機などの休憩スペースや長距離運転手向けの場所を用意する予定があるのか聞きたい。	長距離運転手向けということではないが、駐車場に大型車が停まれるように整備されている。今後トラックステーションのようなものの要望があれば意見を承る。